

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	HIV診療支援ネットワークシステム運営事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課長 山本 尚子		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-2 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第11条		関係する計画、通知等	「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」 平成24年厚生労働省告示第21号				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	エイズの治療を行う医療機関における診療情報等をネットワークで共有、集積し、HIV感染者及びエイズ患者に対する治療・相談に活用する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	エイズ治療・研究開発センター(ACC)及びエイズブロック拠点病院間のネットワークで結び、HIV感染者やエイズ患者(以下「患者等」という。)の状況、服薬記録等の診療情報を集計・データベース化し、共有する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算		60	24	23	23	
		繰越し等						
		計		60	24	23	23	
	執行額		58	23				
	執行率(%)		96.7%	95.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	事業の内容が、システムの運用・保守の経費であり、経費の性質上、数量で評価することができないため、定量的な成果目標を示すことはできない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業の内容が、システムの運用・保守の経費であり、経費の性質上、数量で評価することができないため、定量的な成果目標を示すことはできない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	-	-	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	23	23					
	計	23	23					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	未だ根本的な治療法が見つかっていないHIV/エイズについては、感染者・患者の健康状況、治療状況を分析し、治療法の開発を含む医療の向上を図ることが重要であり、国民のニーズ・優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	HIV感染者・エイズ患者の健康状況や診療記録を収集・分析し、還元することにより、全国のHIV医療水準の向上を図るための事業であることから、国が実施すべきものである。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により選定
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	感染者・患者の健康状況や診療記録等を収集・分析するためのシステムの運用・保守のために支出しており、真に必要なものに限定されている。
	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	点検項目における評価はおおむね妥当であり、また、エイズ医療の水準の向上に寄与していることから、今後とも「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」を踏まえ、適切に実施する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	当該経費は、エイズ対策の推進に必要な経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0854

※平成23年度実績を記入

厚生労働省



【一般競争入札】

A.東芝ソリューション株式会社
23百万円

〔・HIV診療支援ネットワークシステム運用・保守〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.東芝ソリューション株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	システム運用・保守	23			
計		23	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

N.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東芝ソリューション株式会社	HIV診療支援ネットワークシステムの運用・保守	23	1	97.3%